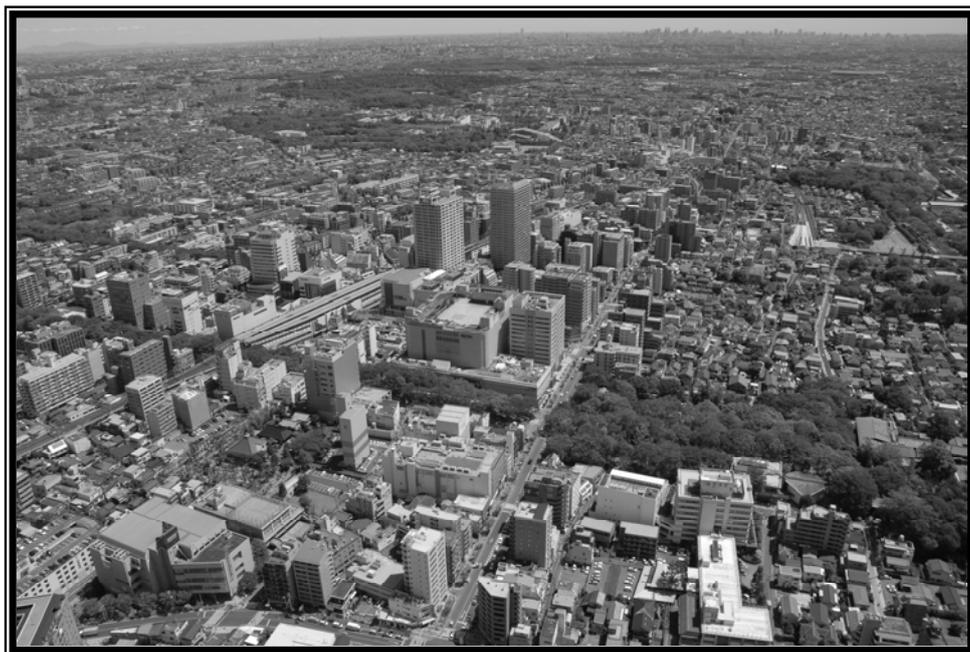

第41回 市政世論調査のあらまし

【平成21年】



◎ほつとするね 旗の府中

府中市

= = 目 次 = =

府中市政世論調査について	1
【住み心地と生活の満足度】	2
・府中市は住みよいところだとお感じになりますか	2
・身近なお住まい環境について、あなたの率直な感想をお聞かせください	3
・今後も府中市に住み続けたいと思っっていますか	4
・現在の生活に満足していらっしゃいますか	5
・府中市にこれから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか	6
【市民参画の推進】	8
・まちづくりの基本的な考え方として重要だと思うことは何ですか	8
・府中市が実施している市政への参加を促進するための制度を知っていますか	8
・市政への市民参画の促進に向けて必要な取組みは何ですか	9
・住民投票制度についてどう考えますか	9
【建築物の耐震化促進】	10
・現在住んでいる住宅の耐震性について関心がありますか	10
・府中市が行っている耐震診断及び耐震改修の助成制度を知っていますか	10
・耐震化に関連する情報提供について、どのようなものを望みますか	11
・府中市内の建築物の耐震化促進に必要な取組みは何ですか	11
【府中市の広報・情報発信】	12
・府中市の行政情報を入手するうえで利用したことがある手段は何ですか	12
・府中市の行政情報が容易に入手できていると感じますか	12
・府中市の行政情報が容易に入手できていないと感じる理由は何ですか	13
・「広報ふちゅう」を読む頻度はどのくらいですか	13
・「広報ふちゅう」で特に関心をもって読む記事は何ですか	14
・「広報ふちゅう」を読まない理由は何ですか	15
・テレビ広報「まるごと府中」を視聴できる環境にありますか	15
【府中市議会報「ふちゅう市議会だより」】	16
・「ふちゅう市議会だより」を読む頻度はどれくらいですか	16
・「ふちゅう市議会だより」で特に関心をもって読む記事は何ですか	16
・「ふちゅう市議会だより」を読まない理由は何ですか	17
・「ふちゅう市議会だより」の紙面構成をどのように変えてほしいと思っいますか	17

府中市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 41 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は、市政全般のほか、「市民参画の推進」「建築物の耐震化促進」「府中市の広報・情報発信」「府中市議会報「ふちゅう市議会だより」」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

第 4 1 回市政世論調査の概要

- (1) 調査地域 府中市全域
- (2) 調査対象者 満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1,000 人(100 地点)
- (4) 抽出方法 地点を用いた二段抽出法
(住民基本台帳の登録人口を 11 の文化センター地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
- (5) 調査方法 面接聴取法
- (6) 調査期間 平成 21 年 7 月 4 日(土)～8 月 2 日(日)
- (7) 回収数 881(回収率 88.1%)

“ご注意”

本書をご覧になる際には、次の点にご留意ください。

- ・ 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このために百分率の合計が 100%にならないことがあります。
- ・ 基数となるべき実数は n として掲載しています。その件数を 100%として比率を算出しました。
- ・ 1 人の回答者が複数回答する設問では、比率の合計が 100%を上回ることがあります。
- ・ この調査の標本誤差は、計算上次のようになります。

基数 n = 881 の場合

10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
±2.85%	±3.81%	±4.37%	±4.67%	±4.76%

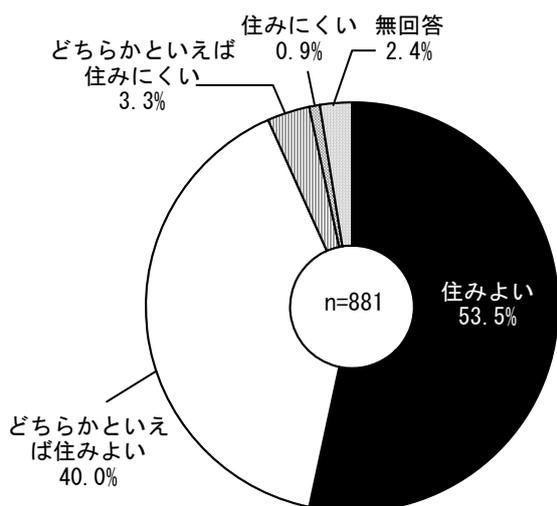
例えば、「ある設問の回答者が 881 人であり、その設問中の選択肢の回答率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 4.67%以内(55.33～64.67%)である」とみることができます。

【住み心地と生活の満足度】

府中市は住みよいところだとお感じになりますか (n=881)

《住みよい派》は9割半ばを占めており、圧倒的多数。

図 1



住み心地は「住みよい」(53.5%)、「どちらかといえば住みよい」(40.0%)の順に高く、これらをあわせた《住みよい派》は9割を超える。これに対して「住みにくい」(0.9%)、「どちらかといえば住みにくい」(3.3%)をあわせた《住みにくい派》は1割にも満たない。

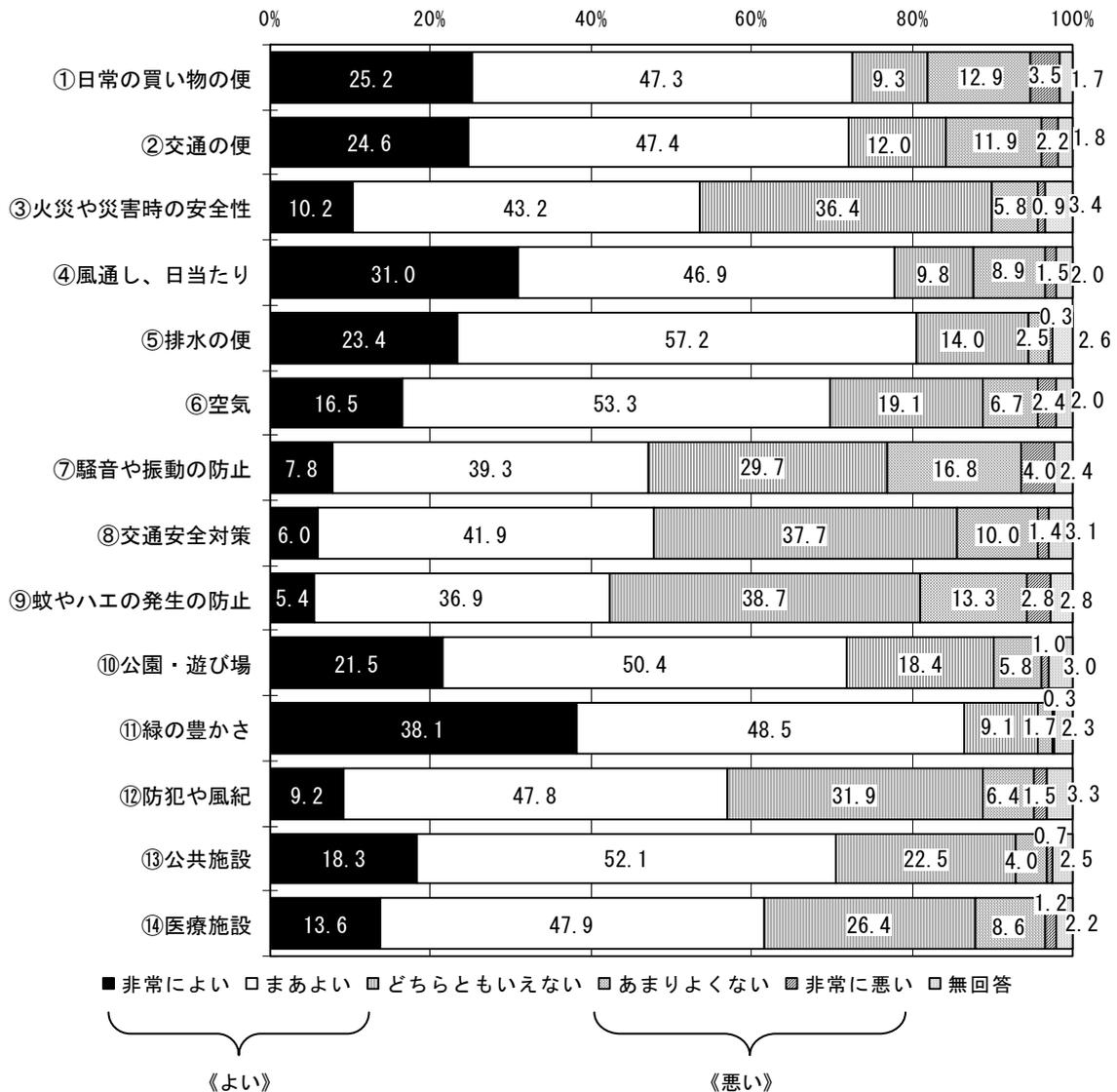
前年度(平成20年度)と比較すると、《住みよい派》《住みにくい派》ともにほぼ横ばいとなっている。また、《住みよい派》は減少しているものの、平成4年度以降続いている9割台を維持している。

図 2



身近なお住まい環境について、あなたの率直な感想をお聞かせください(n=881)
 《よい》は「緑の豊かさ」、《悪い》は「騒音や振動の防止」で割合が最も高くなっている。

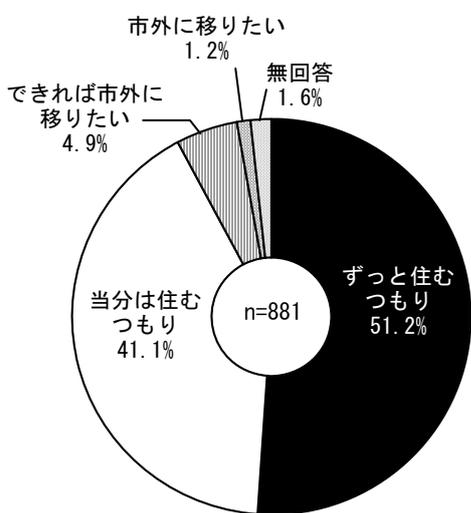
図 3



住まいの環境に関する評価を、「非常によい」及び「まあよい」をあわせた《よい》と、「非常に悪い」及び「あまりよくない」をあわせた《悪い》でみると、《よい》で最も割合が高いのは「緑の豊かさ」(86.6%)であり、次いで「排水の便」「風通し、日当たり」の順となっている。《悪い》で最も割合が高いのは「騒音や振動の防止」(20.8%)であり、次いで「日常の買い物の便」「蚊やハエの発生の防止」の順となっている。

今後も府中市に住み続けたいと思っていますか (n=881)
「当分は住むつもり」を含めた《住むつもり派》が9割以上を占めている。

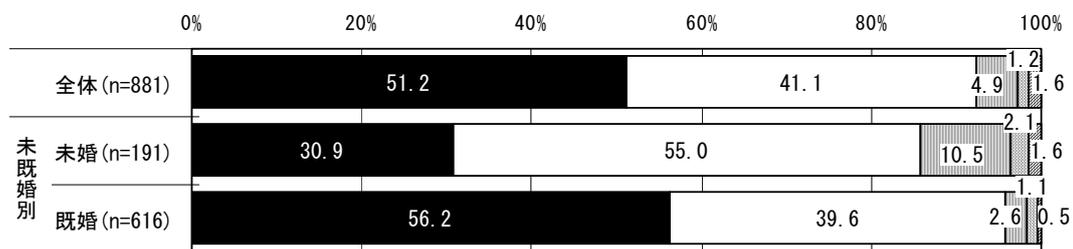
図 4



定住意向は、「ずっと住むつもり」(51.2%)が過半数で、次いで「当分は住むつもり」(41.1%)の順に割合が高く、これらをあわせた《住むつもり派》が9割以上を占めている。これに対して「できれば市外に移りたい」(4.9%)、「市外に移りたい」(1.2%)からなる《移りたい派》は1割未満となっている。

未婚既婚別でも、「未婚」「既婚」ともに、「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」をあわせた《住むつもり派》が9割前後を占めている。しかし、「既婚」では全体と同様に「ずっと住むつもり」の割合が最も高くなっているのに対して、「未婚」では「当分は住むつもり」が最も高く、「ずっと住むつもり」は3割程度となっている。

図 5



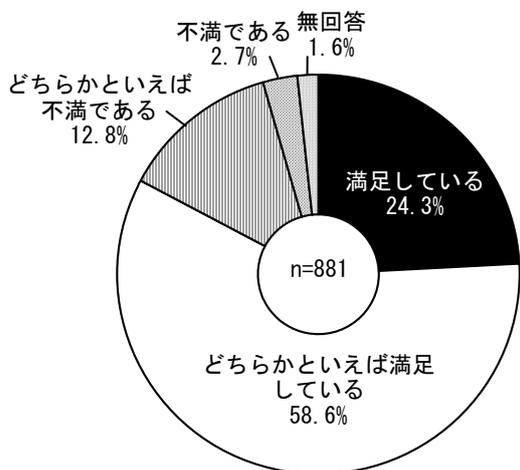
■ ずっと住むつもり □ 当分は住むつもり ▨ できれば市外に移りたい ▩ 市外に移りたい ■ 無回答

《住むつもり派》 《移りたい派》

現在の生活に満足していらっしゃいますか (n=881)

2割半ばの「満足している」を含めた《満足派》が8割半ばを占めている。

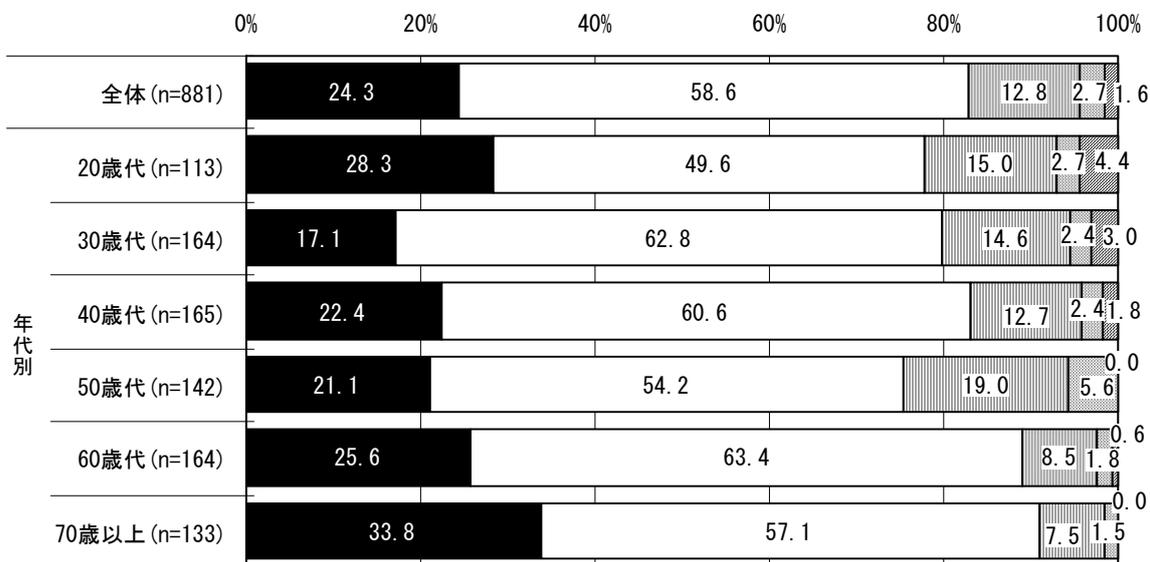
図 6



生活の満足度では、「どちらかといえば満足している」(58.6%)、「満足している」(24.3%)の順に高く、これらをあわせた《満足派》は8割半ばを占めている。一方、「不満である」(2.7%)、「どちらかといえば不満である」(12.8%)をあわせた《不満派》は2割未満となっている。

年代別でみると、《満足派》が最も高いのは「70歳以上」、次いで「60歳代」の順となっている。一方、《不満派》が高いのは、「50歳代」である。

図 7



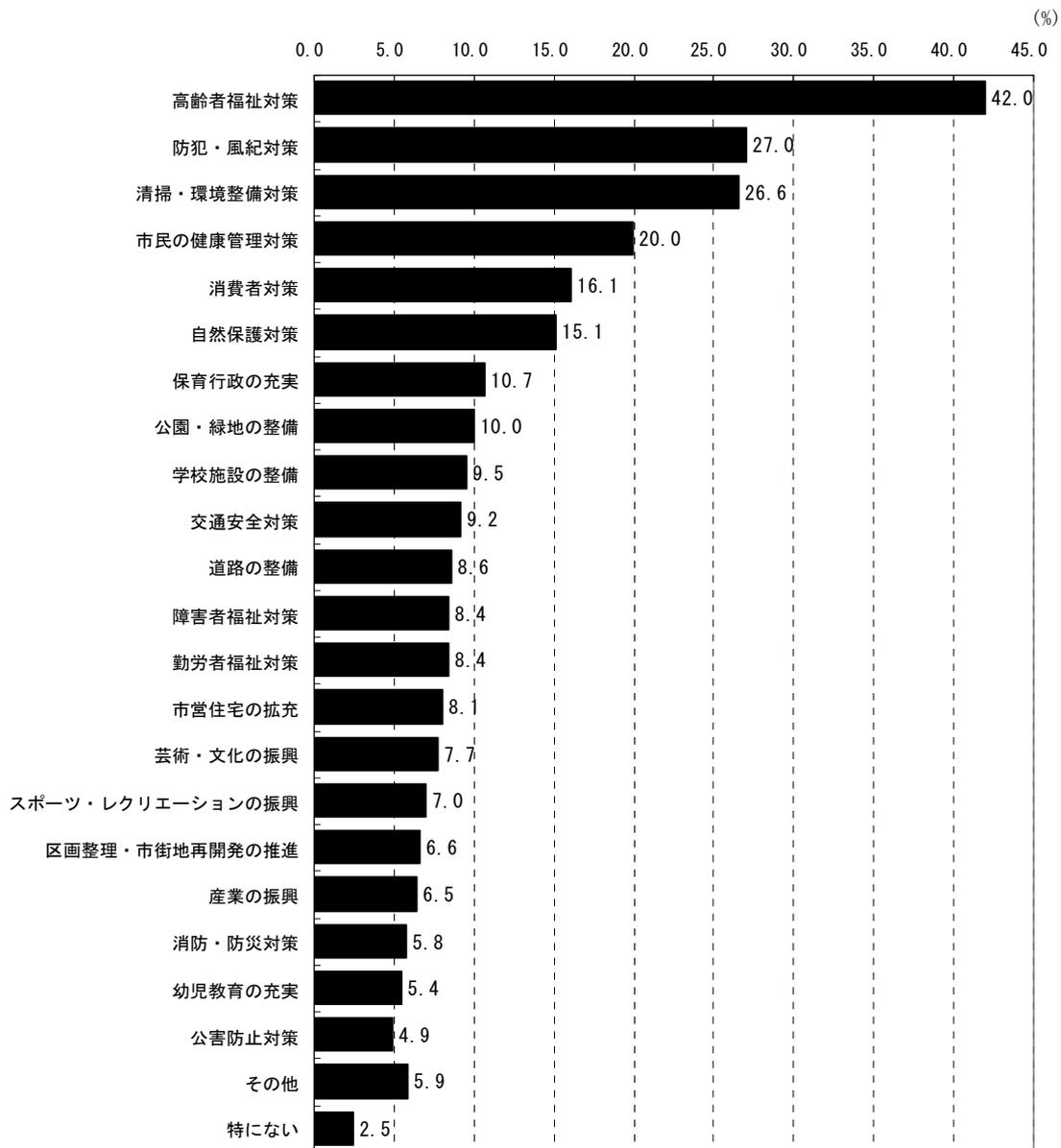
■ 満足している □ どちらかといえば満足している ▨ どちらかといえば不満である ▩ 不満である ▩ 無回答

《満足派》

《不満派》

府中市にこれから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか (n=881 : 複数回答)
「高齢者福祉対策」が4割以上を占めて最も高くなっている。

図 8



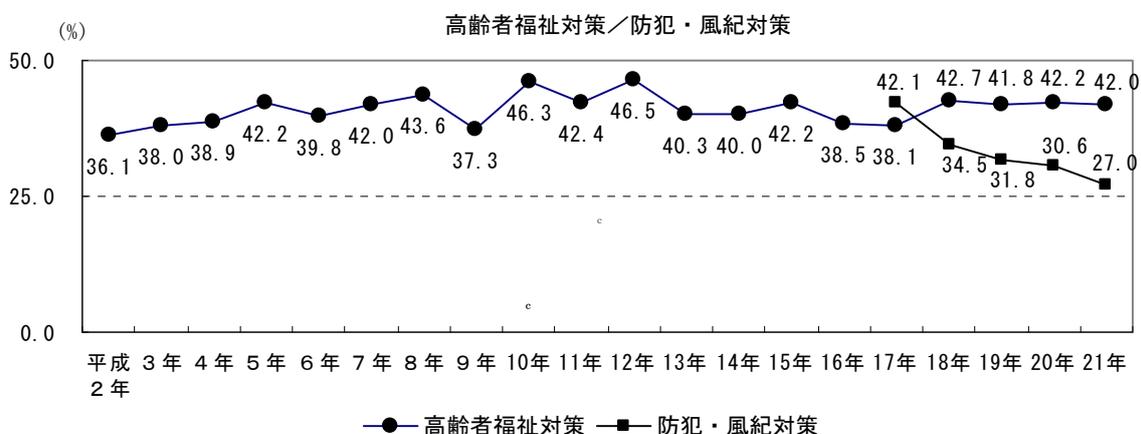
市への要望は、「高齢者福祉対策」(42.0%)が最も高く、次いで「防犯・風紀対策」(27.0%)「清掃・環境整備対策」(26.6%)の順となっており、これらの項目の次には「市民の健康管理対策」(20.0%)「消費者対策」(16.1%)「自然保護対策」(15.1%)が順に高くなっている。

上位5項目について平成12年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉策」は、最近10年間において平成17年度以外は常に1位となっている。2位の「防犯・風紀対策」は、17年度から新たに加えられ、以降続いて上位に入っている。3位の「清掃・環境整備対策」もほぼ毎年上位3位に含まれている。前年度の上位項目「高齢者福祉対策」の割合は若干は減少しているものの、4割を超える高い割合を維持しており、最近10年間、同様の傾向が続いている。

表1

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%
17年	851	防犯・風紀対策 42.1%	高齢者福祉対策 38.1%	清掃・環境整備対策 17.3%	市民の健康管理対策 15.7%	道路の整備 13.2%
16年	876	高齢者福祉対策 38.5%	市民の健康管理対策 20.1%	清掃・環境整備対策 18.0%	自然保護対策 17.6%	交通安全対策 16.1%
15年	848	高齢者福祉対策 42.2%	市民の健康管理対策 20.8%	清掃・環境整備対策 16.3%	道路の整備／交通安全対策 15.9%	
14年	870	高齢者福祉対策 40.0%	清掃・環境整備対策 19.3%	自然保護対策 17.4%	市民の健康管理対策／交通安全対策 17.2%	
13年	896	高齢者福祉対策 40.3%	清掃・環境整備対策 21.1%	市民の健康管理対策 18.4%	自然保護対策／交通安全対策 14.1%	
12年	892	高齢者福祉対策 46.5%	清掃・環境整備対策 20.3%	市民の健康管理対策 18.0%	自然保護対策 15.6%	道路の整備 14.8%

図9



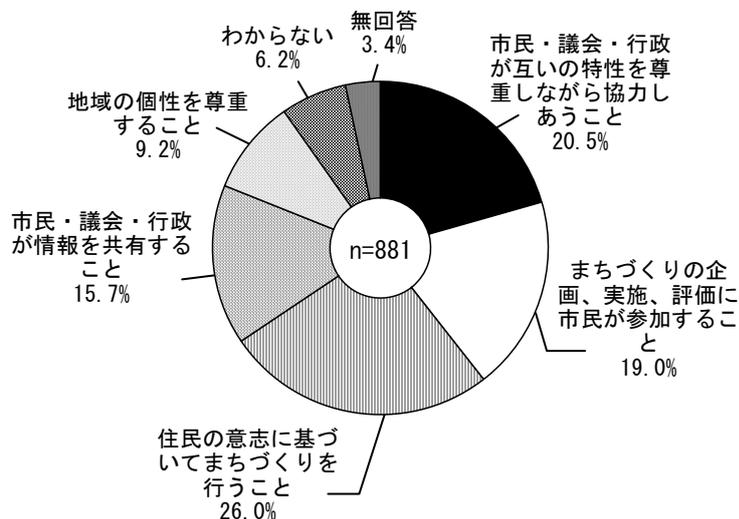
※「防犯・風紀対策」は平成17年度より加えられた項目である。

【市民参画の推進】

まちづくりの基本的な考え方として重要だと思うことは何ですか (n=881)

「住民の意志に基づいてまちづくりを行うこと」が2割半ばを占めている。

図 10

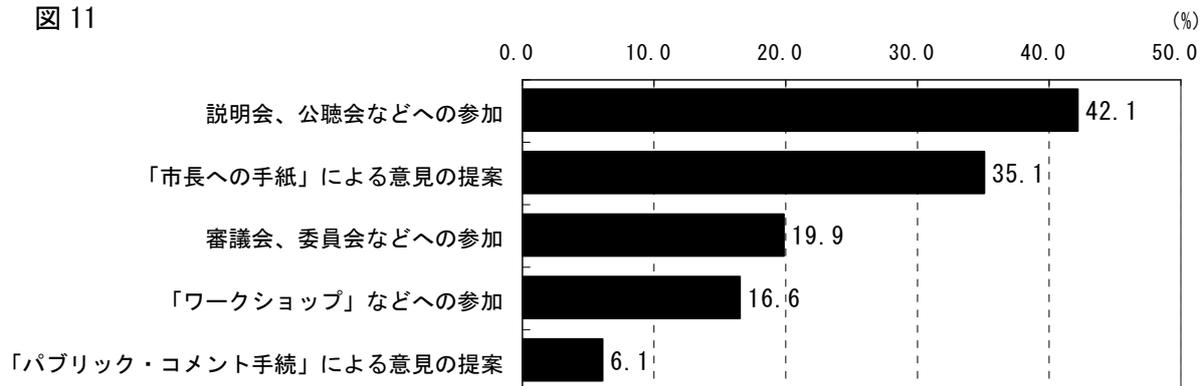


まちづくりの基本的な考え方では、「住民の意志に基づいてまちづくりを行うこと」(26.0%)が最も高く、次いで「市民・議会・行政が互いの特性を尊重しながら協力しあうこと」(20.5%)「まちづくりの企画、実施、評価に市民が参加すること」(19.0%)の順となっている。

府中市が実施している市政への参加を促進するための制度を知っていますか (n=881：複数回答)

「説明会、公聴会などへの参加」が4割以上で最も高くなっている。

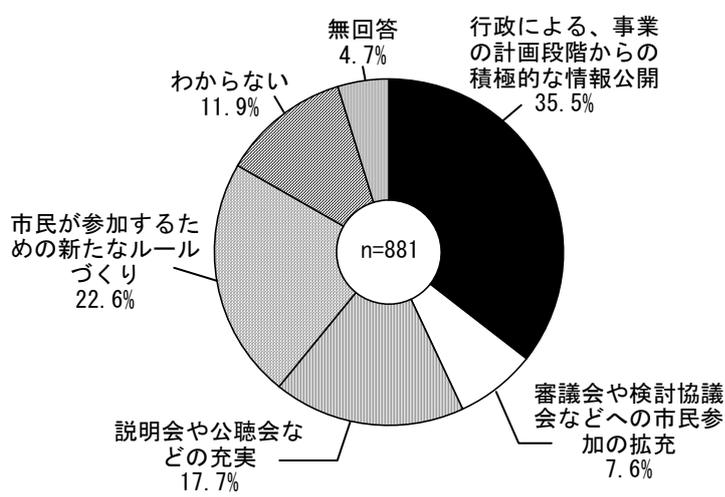
図 11



市政への参加を促進するための制度の認知状況については、「説明会、公聴会などへの参加」(42.1%)が最も高く、次いで「市長への手紙」による意見の提案(35.1%)「審議会、委員会などへの参加」(19.9%)の順となっている。

市政への市民参画の促進に向けて必要な取組みは何ですか (n=881)
「行政による、事業の計画段階からの積極的な情報公開」が最も高く、3割半ばを占めている。

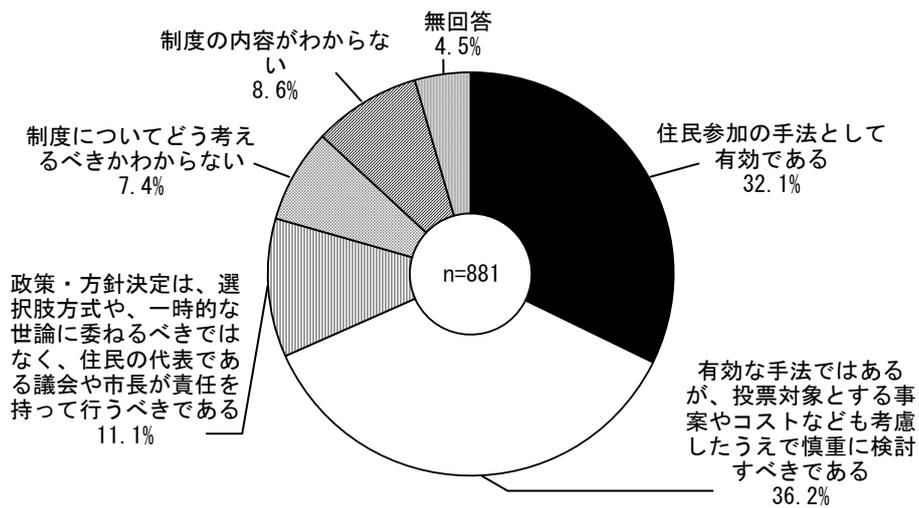
図 12



市政への市民参画の促進に向けて必要な取組みは、「行政による、事業の計画段階からの積極的な情報公開」(35.5%)が最も高く、次いで「市民が参加するための新たなルールづくり」(22.6%)「説明会や公聴会などの充実」(17.7%)の順となっている。

住民投票制度についてどう考えますか (n=881)
「有効な手法ではあるが、投票対象とする事案やコストなども考慮したうえで慎重に検討すべきである」が最も高く、3割半ばを占めている。

図 13



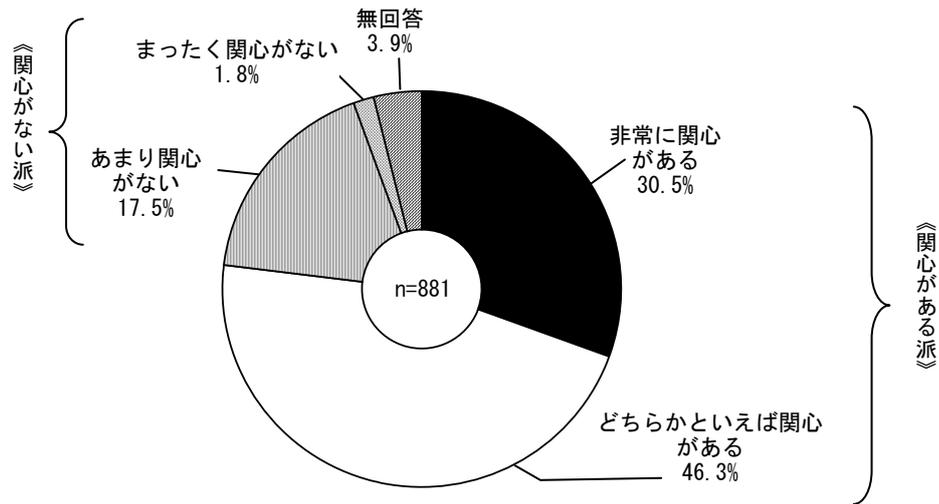
住民投票制度については、「有効な手法ではあるが、投票対象とする事案やコストなども考慮したうえで慎重に検討すべきである」(36.2%)が最も高く、次いで「住民参加の手法として有効である」(32.1%)となっている。

【建築物の耐震化促進】

現在住んでいる住宅の耐震性について関心がありますか (n=881)

《関心がある派》が7割半ばを占めている。

図 14

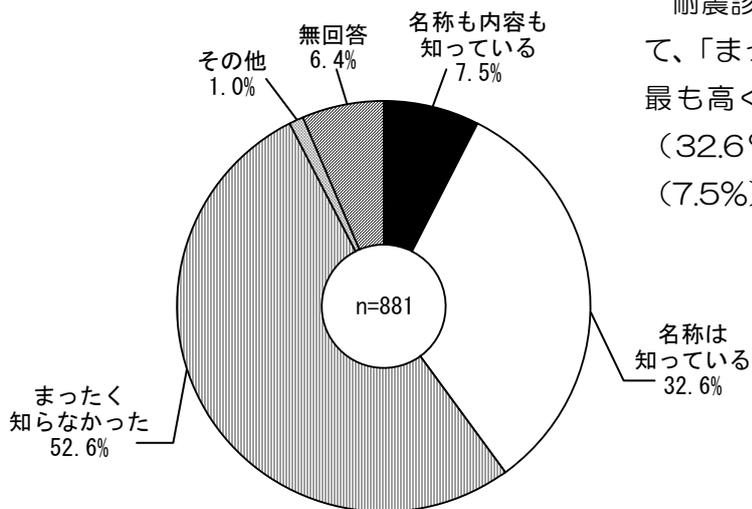


住宅の耐震性への関心については、「どちらかといえば関心がある」が最も高く4割半ばを占めており、「非常に関心がある」とあわせた《関心がある派》は7割半ばを占めている。

府中市が行っている耐震診断及び耐震改修の助成制度を知っていますか (n=881)

「まったく知らなかった」が5割半ばを占めている。

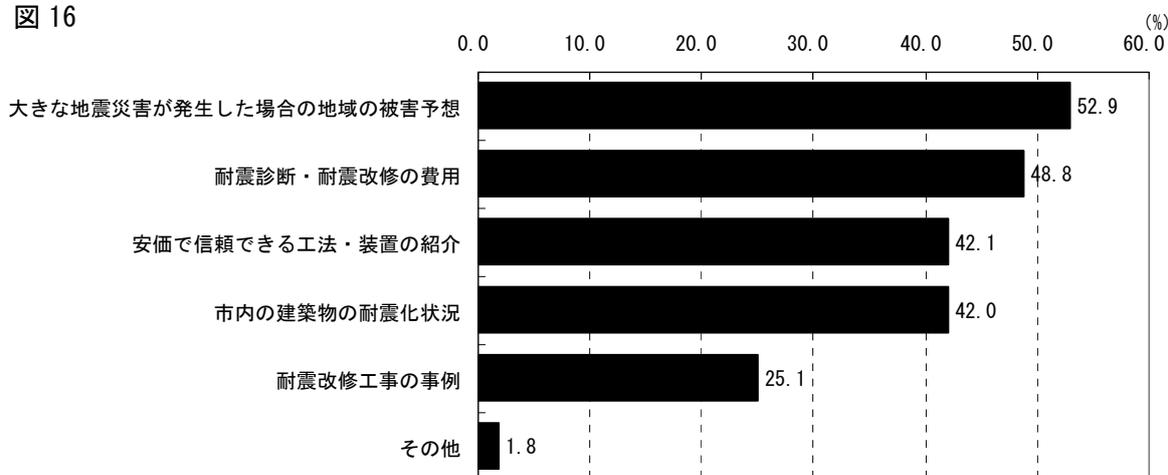
図 15



耐震診断及び耐震改修の助成制度について、「まったく知らなかった」(52.6%)が最も高く、次いで「名称は知っている」(32.6%)「名称も内容も知っている」(7.5%)の順となっている。

耐震化に関連する情報提供について、どのようなものを望みますか (n=881 : 複数回答)
「大きな地震災害が発生した場合の地域の被害予想」が5割半ばを占めている。

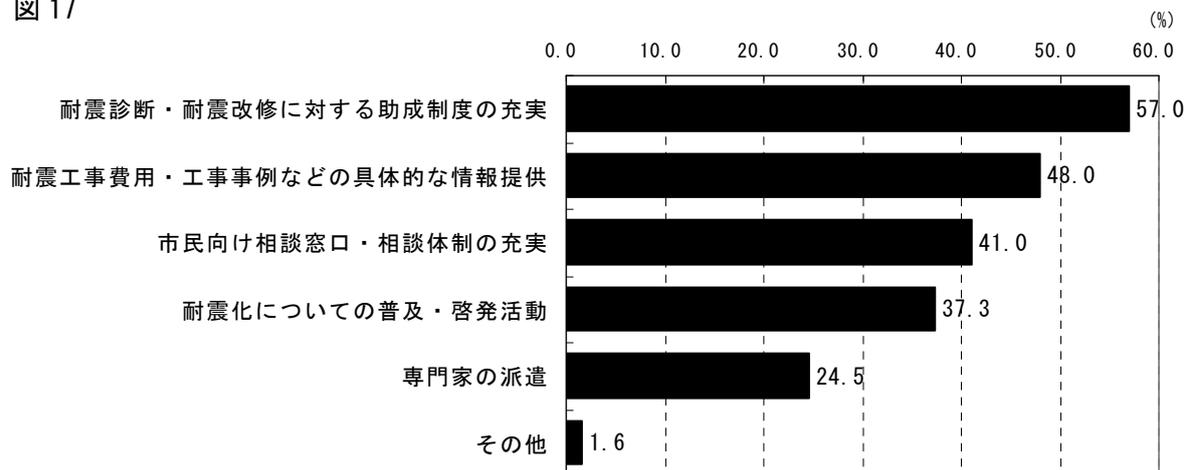
図 16



行政に望む耐震化に関連する情報提供は、「大きな地震災害が発生した場合の地域の被害予想」(52.9%)が最も高く、次いで「耐震診断・耐震改修の費用」(48.8%)「安価で信頼できる工法・装置の紹介」(42.1%)の順となっている。

府中市内の建築物の耐震化促進に必要な取組みは何ですか (n=881 : 複数回答)
「耐震診断・耐震改修に対する助成制度の充実」が5割半ばを占めている。

図 17



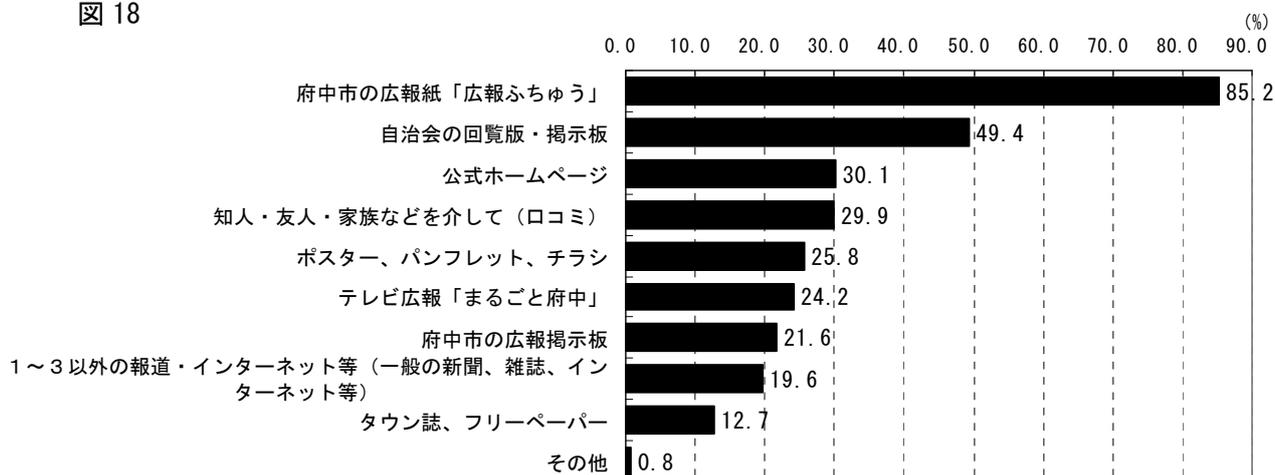
行政に望む建築物の耐震化促進への取組みについては、「耐震診断・耐震改修に対する助成制度の充実」(57.0%)が最も高く、次いで「耐震工事費用・工事事例などの具体的な情報提供」(48.0%)、「市民向け相談窓口・相談体制の充実」(41.0%)の順となっている。

【府中市の広報・情報発信】

府中市の行政情報を入手するうえで利用したことがある手段は何ですか (n=881:複数回答)

「府中市の広報紙「広報ふちゅう」が8割半ばを占めている。

図 18

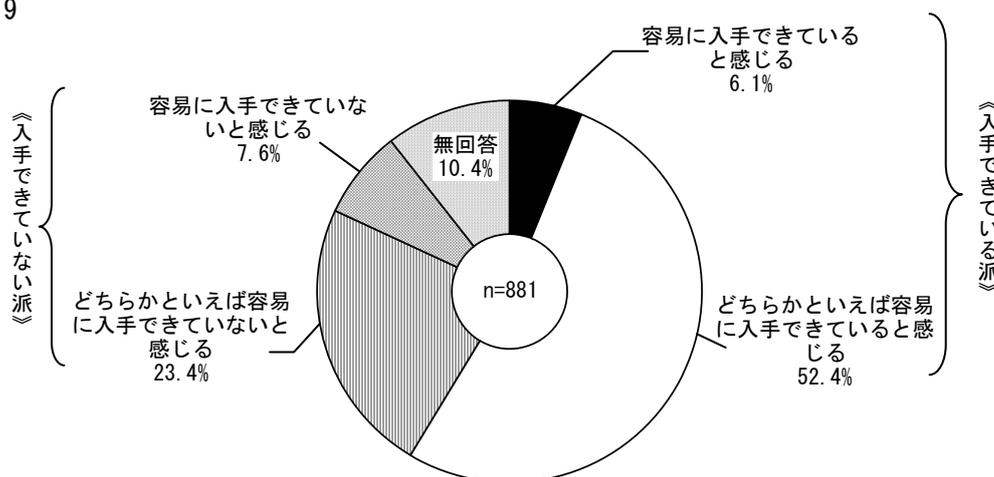


行政情報の入手手段については、「市の広報紙「広報ふちゅう」(85.2%)が最も高く、次いで「自治会の回覧板・掲示板」(49.4%)「公式ホームページ」(30.1%)の順となっている。

府中市の行政情報が容易に入手できていると感じますか (n=881)

《入手できている派》が6割近くを占めている。

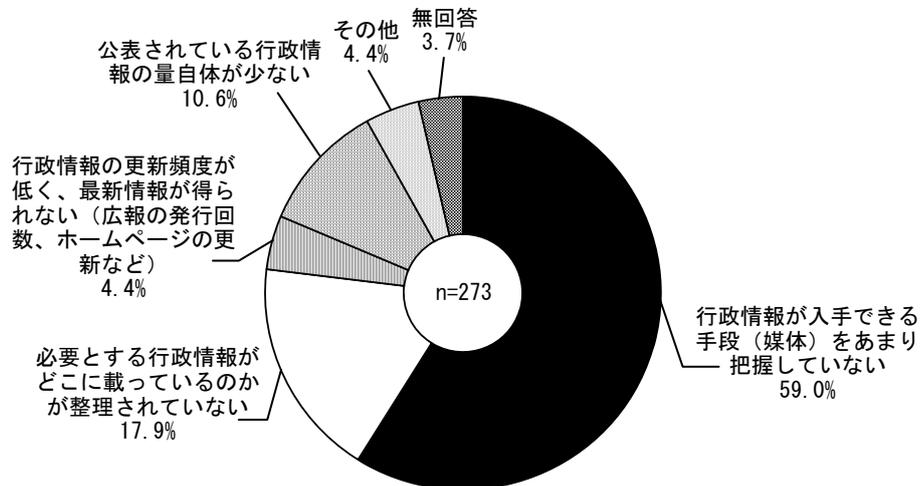
図 19



行政情報の入手しやすさについては、「容易に入手できていると感じる」と「どちらかといえば容易に入手できていると感じる」を合わせた《入手できている派》が6割近くを占めており、「どちらかといえば容易に入手できていないと感じる」と「容易に入手できていないと感じる」を合わせた《入手できていない派》を上回っている。

府中市の行政情報が容易に入手できていないと感じる理由は何ですか。(n=273)
「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」が6割近くを占めている。

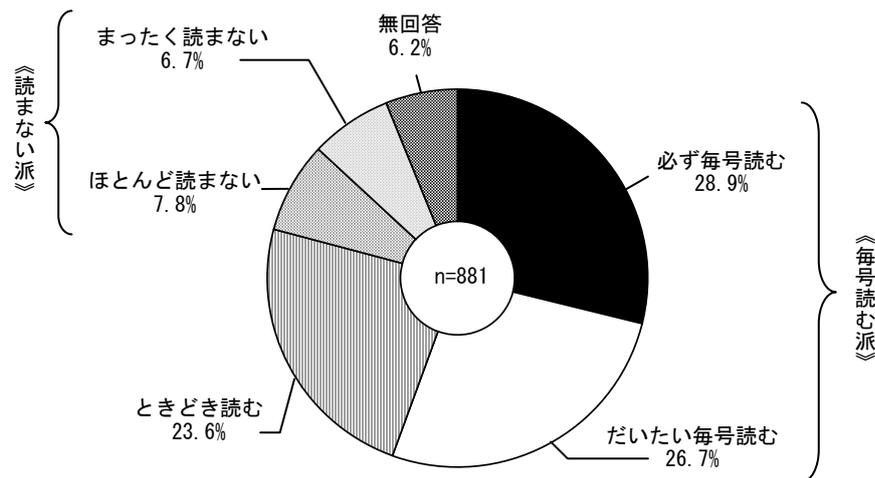
図 20



行政情報の入手に不便を感じる理由については、「行政情報が入手できる手段（媒体）をあまり把握していない」（59.0%）が最も高く、次いで「必要とする行政情報がどこに載っているのかが整理されていない」（17.9%）「公表されている行政情報の量自体が少ない」（10.6%）の順となっている。

「広報ふちゅう」を読む頻度はどのくらいですか(n=881)
《毎号読む派》が5割半ばを占め、《読まない派》を上回っている。

図 21

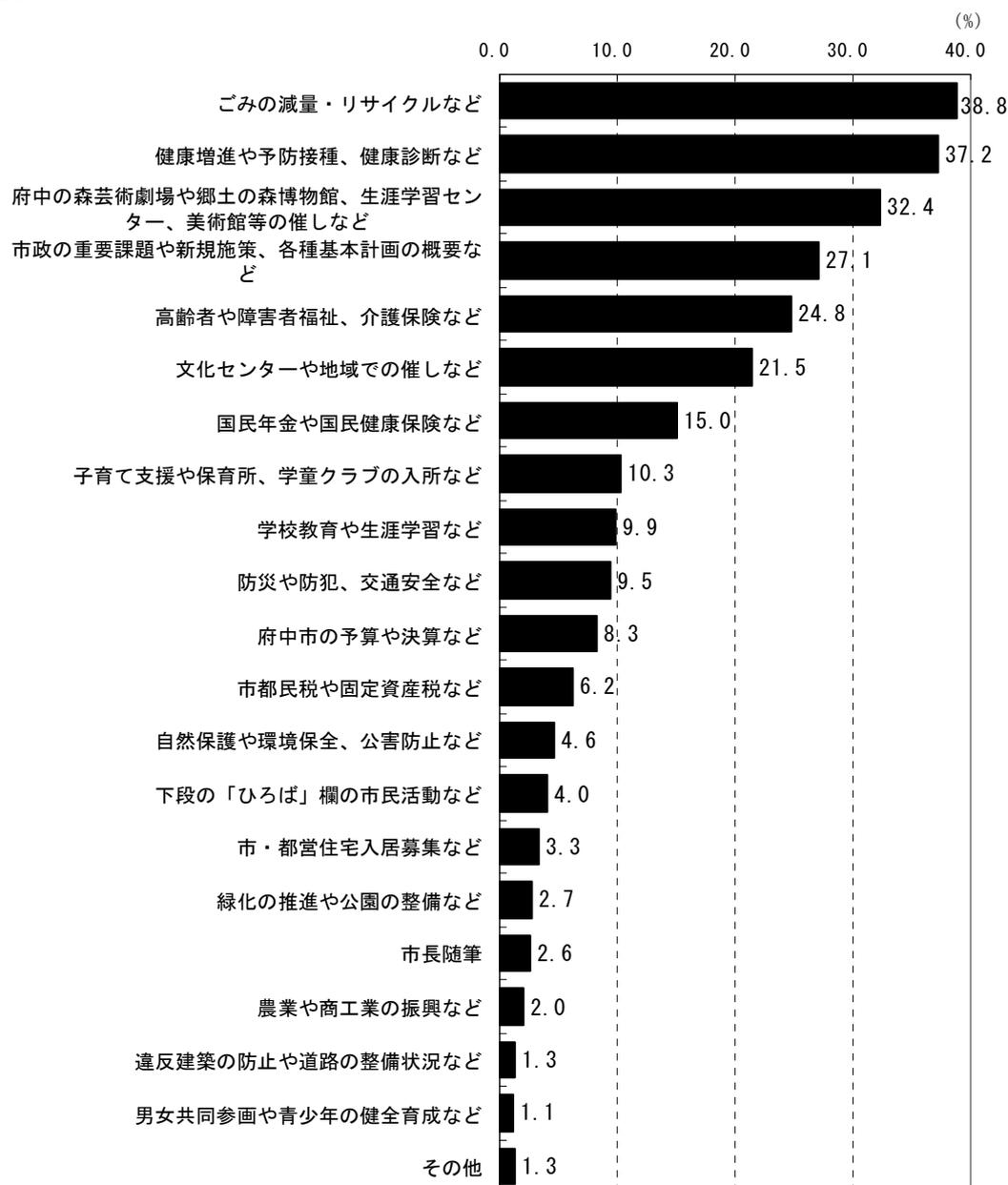


「広報ふちゅう」を読む頻度については、「必ず毎号読む」（28.9%）が最も高く、次いで「だいたい毎号読む」（26.7%）「ときどき読む」（23.6%）となっている。「必ず毎号読む」と「だいたい毎号読む」をあわせた《毎号読む派》が5割半ばを占めており、「ほとんど読まない」と「まったく読まない」をあわせた《読まない派》を大きく上回っている。

「広報ふちゅう」で特に関心をもって読む記事は何ですか (n=698 : 複数回答)

「ごみの減量・リサイクルなど」が最も高く、4割近くを占めている。

図 22

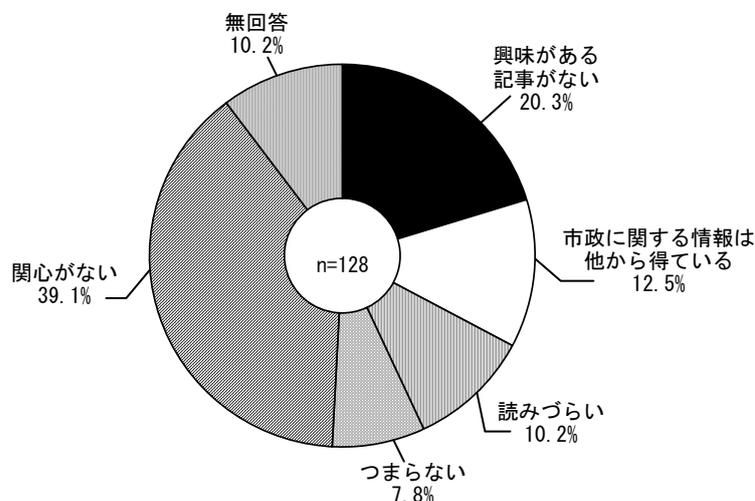


「広報ふちゅう」で関心のある記事については、「ごみの減量・リサイクルなど」(38.8%)が最も高く、次いで「健康増進や予防接種、健康診断など」(37.2%)「府中の森芸術劇場や郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館等の催しなど」(32.4%)の順となっている。

「広報ふちゅう」を読まない理由は何ですか (n=128)

「関心がない」が4割近くを占めている

図 23

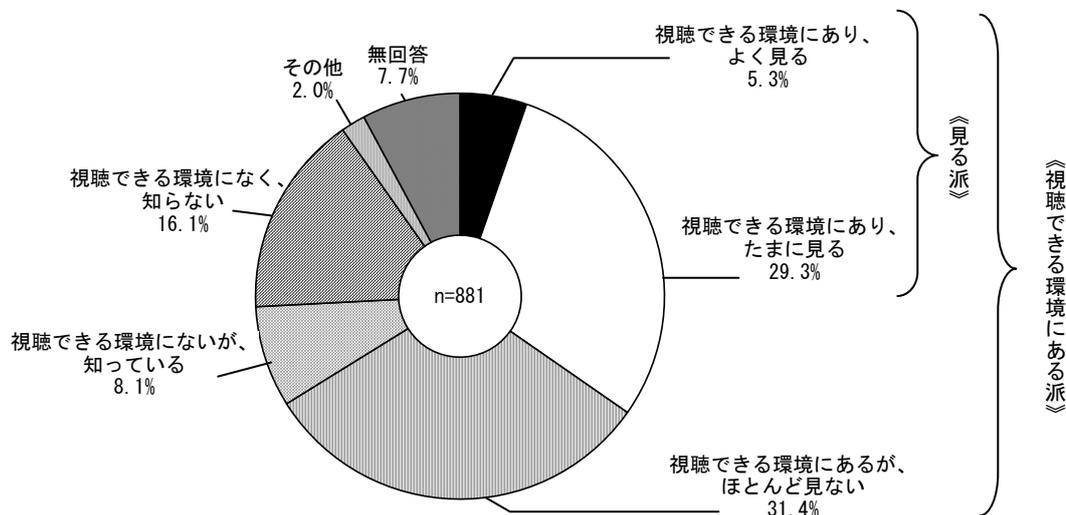


「広報ふちゅう」を読まない理由については、「関心がない」(39.1%)が最も高く、次いで「興味がある記事がない」(20.3%)「市政に関する情報は他から得ている」(12.5%)の順となっている。

テレビ広報「まるごと府中」を視聴できる環境にありますか (n=881)

「まるごと府中」を《見る派》が3割半ばを占めている。

図 24



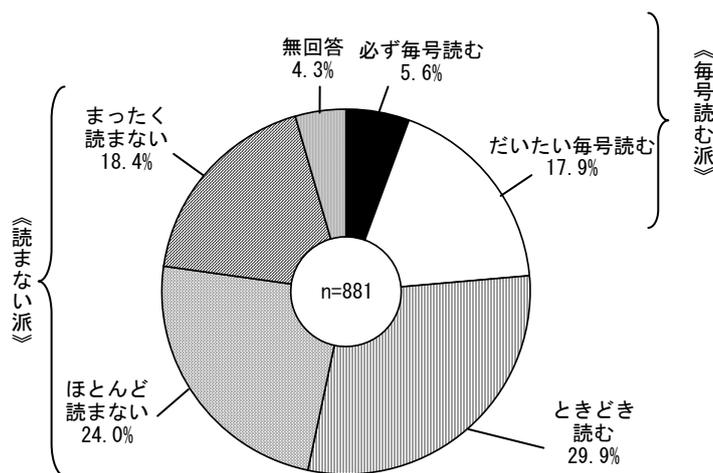
「まるごと府中」の視聴環境については、「視聴できる環境にあるが、ほとんど見ない」(31.4%)が最も高く、次いで「視聴できる環境にあり、たまに見る」(29.3%)「視聴できる環境がなく、知らない」(16.1%)の順となっている。「視聴できる環境にあり、よく見る」と「視聴できる環境にあり、たまに見る」をあわせた《見る派》が3割半ばを占めている。

【府中市議会報「ふちゅう市議会だより」】

「ふちゅう市議会だより」を読む頻度はどれくらいですか (n=881)

《読まない派》が《毎号読む派》を上回っている。

図 25



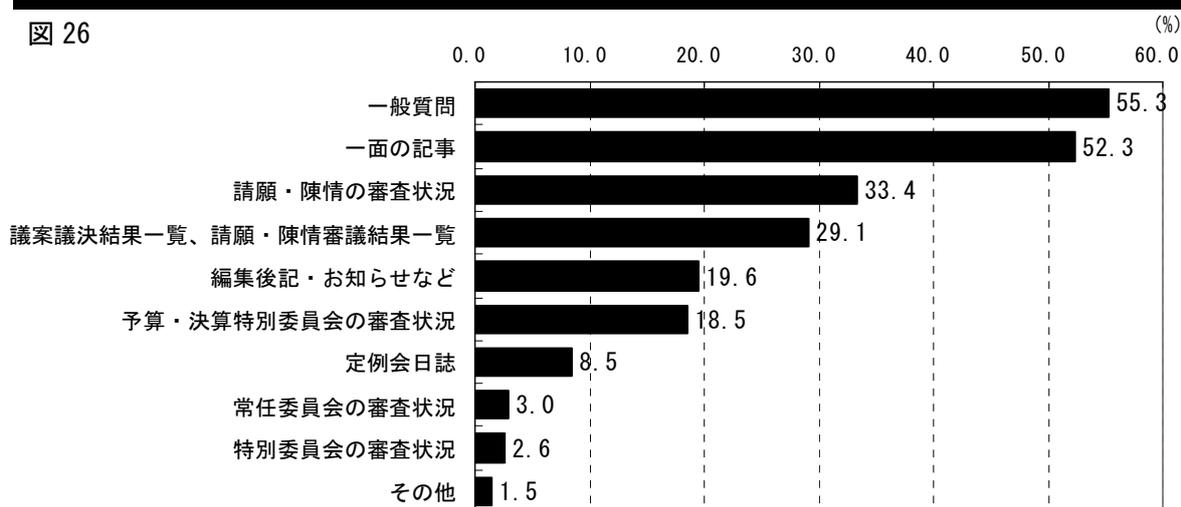
「ふちゅう市議会だより」を読む頻度は「ときどき読む」(29.9%)が最も高く、次いで「ほとんど読まない」(24.0%)「まったく読まない」(18.4%)「だいたい毎号読む」(17.9%)の順となっている。

「必ず毎号読む」と「だいたい毎号読む」をあわせた《毎号読む派》が2割半ばを占めている。また、「ほとんど読まない」と「まったく読まない」をあわせた《読まない派》が4割以上を占めている。

「ふちゅう市議会だより」で特に興味をもって読む記事は何ですか (n=470：複数回答)

「一般質問」「一面の記事」が5割以上を占めている。

図 26

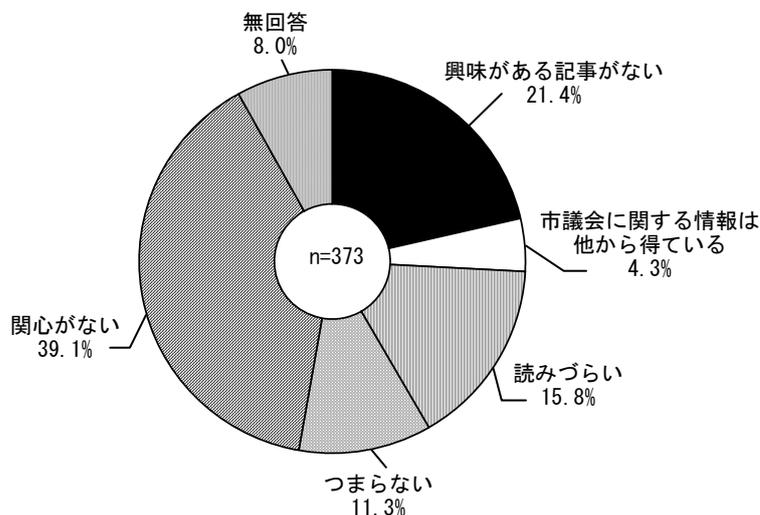


「ふちゅう市議会だより」で興味のある記事は、「一般質問」(55.3%)が最も高く、次いで「一面の記事」(52.3%)「請願・陳情の審査状況」(33.4%)の順となっている。

「ふちゅう市議会だより」を読まない理由は何ですか (n=373)

「関心がない」が4割近くを占めている。

図 27

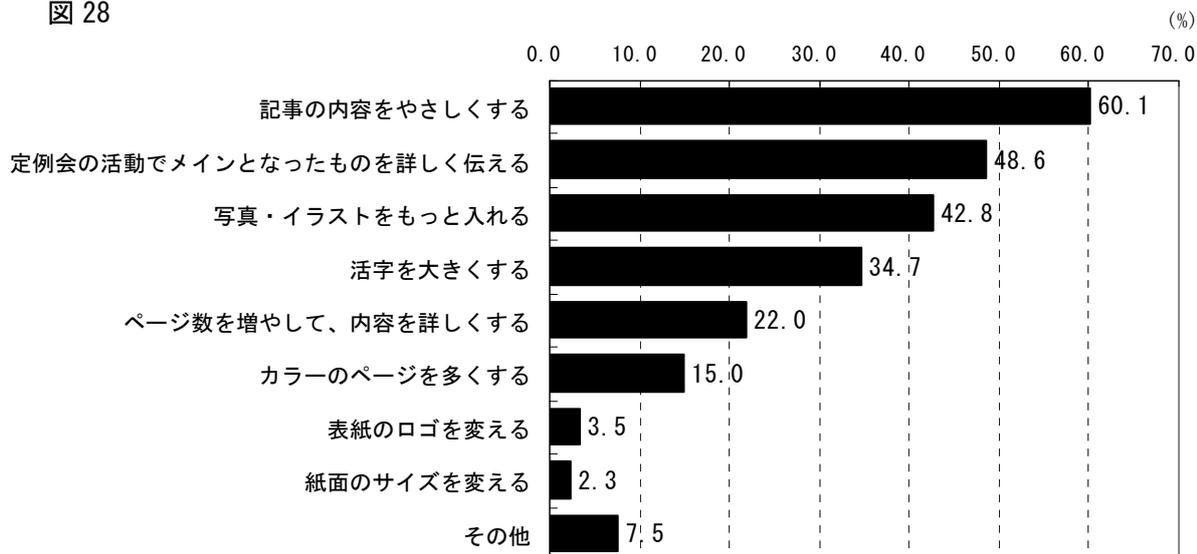


「ふちゅう市議会だより」を読まない理由は、「関心がない」(39.1%)が最も高く、次いで「興味がある記事がない」(21.4%)「読みづらい」(15.8%)の順となっている。

「ふちゅう市議会だより」の紙面構成をどのように変えてほしいと思いますか (n=173: 複数回答)

「記事の内容をやさしくする」が6割を占めている。

図 28



「ふちゅう市議会だより」に望む紙面構成については、「記事の内容をやさしくする」(60.1%)が最も高く、次いで「定例会の活動でメインとなったものを詳しく伝える」(48.6%)「写真・イラストをもっと入れる」(42.8%)の順となっている。

第 41 回 市政世論調査

平成 21 年 10 月

- 【企画】** 府中市政策総務部広報課
東京都府中市宮西町 2-24
Tel042-366-1711
- 【実施】** 株式会社コクドリサーチ
東京都多摩市馬引沢 1-9-6
Tel042-373-3011